

2026年5月8日

宮城丸森開閉所の一部使用開始について
～電力の広域的取引拡大に向け東北東京間連系線の2ルート化へ～

当社は、本日、宮城丸森開閉所（宮城県丸森町）および同開閉所に接続する50万ボルト送電線のうち常磐北幹線、常磐南幹線、新地アクセス線について、一部使用を開始いたしました。

宮城丸森開閉所の新設工事は、東北東京間連系線の2ルート化による電力の広域的取引の拡大や、再生可能エネルギーの導入拡大を目的として、電力広域的運営推進機関が策定した広域系統整備計画に基づき、当社が事業実施主体となり、2022年10月から建設工事を進めてきたものです（[2022年10月3日お知らせ済み](#)）。

また、本整備計画により、大規模災害時において、東北エリアと東京エリアの間で融通できる電力量が拡大するなど、電力の安定供給にも寄与するものです。

当社といたしましては、2027年11月の東北東京間連系線に係る全設備の使用開始に向け、引き続き、工事における安全確保を徹底するとともに、騒音・振動対策や土砂流出防止対策などの環境保全対策を確実に実施し、周辺環境に配慮した設備形成に努めてまいります。

本工事の概要は、以下のとおりです。

名称	宮城丸森開閉所	
所在地	宮城県伊具郡丸森町筆甫	
接続送電線	50万ボルト10回線	
	今回一部使用開始した送電線 (常磐北幹線：1回線) (常磐南幹線：1回線) (新地アクセス線：1回線)	今後使用開始予定の送電線 (常磐北幹線：1回線) (常磐南幹線：1回線) (新地アクセス線：1回線) (宮城丸森幹線：2回線) (丸森いわき幹線：2回線)
工事開始	2022年10月3日	
使用開始予定	2027年11月*	

※ 2026年5月8日一部使用開始。

以上

(別紙) 東北東京間連系線に係る広域系統整備計画の概要

東北東京間連系線に係る広域系統整備計画の概要

1. 整備計画

工事件名	設備概要	着工 ^{※1}	使用開始
宮城丸森開閉所 新設	500kV 10回線	2022年10月	2027年11月 ^{※2}
常磐幹線 宮城丸森開閉所引込	500kV 1km	2024年6月	2026年7月 ^{※2}
新地アクセス線 宮城丸森開閉所引込	500kV 1km	2024年9月	2026年7月 ^{※2}
相馬双葉幹線 接続変更	500kV 16km	2022年6月	2026年6月
宮城丸森幹線 新設	500kV 79km	2022年9月	2027年11月
宮城中央変電所 500kV引出	500kV 2回線	2024年12月	2027年11月
丸森いわき幹線 新設	500kV 64km	2024年4月	2027年11月

※1 電気事業法(第48条1項)に基づく工事計画届出書へ記載する着工年月。

※2 2026年5月8日一部使用開始。

2. 送電系統図

